



ヴォーリスだより



- 特集 - リハビリテーションセンターのご紹介

巻頭言

「原点回帰からの新しい展開」

公益財団法人 近江兄弟社

理事長 三ツ浪 健一



Vol. 160

2023年1月発行

基本理念

キリスト教の「隣人愛」と「奉仕」の業を、医療を通して実践します。
－ 私たちは、基本理念を大切にします。－



「原点回帰からの新しい展開」



理事長 三ッ浪 健一

2022年10月10日には、我々の原点であるアンナ・ダンフォース・ツッカー記念館（ツッカーハウス）の造りをモチーフにした新病院の竣工式が盛大に開催され、11月1日から全診療機能が新病院に移転されました。また、2022年4月から開始されたツッカーハウスの第5期改修工事（耐震補強、外部補修、内部利用室改修）が終了し、2022年11月からその内部利用が可能となりました。

ツッカーハウスは、木造2階、中央部3階建てで、玄関ポーチを中央に全体を左右対称に構成し、左右の両翼部は病室の延長にある日光浴室、3階は日本間の看護婦室（山形政昭著「ウィリアム・メレル・ヴォーリズの建築」より）でした。1980年頃から管理棟として使用されるようになってからは改裝や修復が行われず老朽化したため、現在の認定NPO法人ヴォーリズ遺産を守る市民の会が2011年から数度に亘って改修を進めてこられました。今回、公益財団法人からも出資を行った結果、内部利用が可能な改修となりました。

1916年発行のTHE OMI MUSTARD-SEEDに掲載されたツッカーハウスの設計図と今回の改修計画図を並べて掲載します（左：1階、右：2階）。今後、1階は公益財団法人が管理本部として使用し、将来整備されるヴォーリズ・メモリアル・ヴィレッジの中枢として機能させる予定です。一方、2階は認定NPO法人が市民の広場として活用される予定です。これらにより、ヴォーリズ精神の原点に戻り、そこから神の国実現に向けた新たな活動が推進されることが大いに期待されています。皆様のご意見、ご希望やご協力を賜れることを願っています。



チャプレンだより② 「新病院定礎式」

チャプレン 中村信雄



新病院の建築工事を終えた後、正面玄関にて定礎式を執り行いました。定礎式とは、病院の土台として私たちが大切にしているものを据える儀式です。讃美歌236番を讃美し、聖書を朗読し、お祈りした後、私たちは聖書を納めました。

新病院も、神様の愛の上に建つ病院であるということです。私たちの働きを通して神様の愛に触れていただければ幸いです。これからも神様と地域の方々に喜ばれる病院であり続けたいと願っております。



部署紹介

回復期リハビリテーション病棟

看護師 久城 亜也子

●回復期リハビリテーション病棟とは

主に脳血管障害や大腿骨頸部骨折などの急性期治療が終了した方に対して、身体機能の回復に根ざした日常生活動作の向上による寝たきりの防止と、在宅復帰を目的としたリハビリテーションプログラムを、専門医師、看護師、リハビリスタッフなどが共同して作成し、これに基づきリハビリテーションを集中的に行う病棟です。

●それぞれの役割は？

<看護師の役割>

- ・疾病と生活機能に障害を持つ人に対し生活の再構築を支援
- ・診療の補助、生活面のケアに加え、日常生活の中での自立支援を通じて多職種との協働
- ・患者、家族の心理面を支援し、患者の情報を多職種へ発信し共有する

<ケアワーカーの役割>

- ・患者の入院生活全般を生活リハビリと捉え、ADL（日常生活動作）自立を目標に支援する
- ・床上基本動作（起き上がり、端座位、体位変換）移乗動作、食事、排泄、更衣、整容、入浴など身の回り動作の自立を支援する
- ・受け持ち患者の計画作成、評価などを多職種と協働して行う

2022年11月1日に新病院への移転をしました。今後も地域の皆さまへ全人的なケアを提供できるよう精進してきたいと思います。



特集

リハビリテーションセンターのご紹介

屋内約720㎡、屋外約300㎡のリハビリテーションセンターで約60人のスタッフが活動しております。また、新病院移転に伴い、回復期リハビリテーション病棟と同じフロアとなったことで患者さんのアクセスが非常に良くなりました。

●天井走行リフト

天井から吊り下げたハーネスと体を固定することで、体重を免荷しながらスムーズな安定した歩行練習をすることができます。また、二人介助でしか行えなかった患者さんの歩行練習や、実際には転倒しないが「安全に転倒体験」ができるという歩行練習の実施が可能となりました。



●摂食嚥下機能訓練室

いつでも「食べる」を身近に。吸引・酸素が常設されており、専門的な直接的嚥下訓練を行います。嚥下障害のある方にも積極的に安全でおいしく口から食べてもらえるよう支援していきます。



●屋外庭園

西の湖を見ながら歩行練習が行えます。



●理学療法

理学療法とは、検査、測定/評価に基づき、何らかの疾病、傷害（スポーツを含む）などに起因する機能・形態障害に対する運動療法による筋力、関節可動域、協調性といった身体機能、および温熱、水、光線、電気などの物理療法による疼痛、循環などの改善を図る治療科学です。また能力障害が残ったとき、基本的動作や日常生活活動を改善するための指導、そして社会生活を送る上で不利な要素を少なくするための福祉用具の選定や住宅改修・環境調整、在宅ケアなどが含まれます。近年では、生活習慣病の予防、コントロール、障害予防も理学療法の対象になっています。

●作業療法

身体または精神に障害のある者、またはそれが予測されるものに対して、その主体的な活動の獲得をはかるため、諸機能の回復・維持および開発を促す作業活動を用いて行う治療・指導・援助を行うことを意味します。近年複雑化する社会に対応すべく、身体の障害の治療のみならず心のケアも必要不可欠といわれ、それには作業療法の重要性が高まっています。さらに、超高齢化社会を迎え、高齢な人たちの生き方を考え、その人らしく援助指導していくことに努めています。また、2015年より外来にて小児リハビリテーションにも取り組んでおります。

●言語聴覚療法

言葉によるコミュニケーションには言語、聴覚、発声・発音、認知などの各機能が関係していますが、病気や交通事故、発達上の問題などでこのような機能が損なわれることがあります。言語聴覚士は言葉によるコミュニケーションに問題がある方に専門的サービスを提供し、自分らしい生活を構築できるよう支援する専門職です。また、摂食・嚥下の問題にも専門的に対応します。当院では、言葉の障害（失語症・運動障害性構音障害）や食べ物の飲み込みの障害（嚥下障害）を持つ方々に対し、評価・訓練・援助を行い、言語能力と嚥下能力が最大限に回復し、充実した日常生活を送っていただくことを目標としています。NST（栄養サポートチーム）とも連携し、VF検査（嚥下造影検査）も実施しています。また、2015年より外来にて小児リハビリテーションにも取り組んでおります。

冬場のお風呂の入り方

循環器科 医師 山根 哲信

寒い季節になりますと、“ヒートショック”という用語を用いて特に年配からご高齢の方々に、冬場の入浴の仕方について注意を促すようになってきました。

“ヒートショック”とは？温度の急激な変化で血圧が上下に大きく変動することによって、失神したり心筋梗塞や脳卒中といった血管の病気などを引き起こす健康被害のこと、と言われています。入浴の際、温かい居間→寒い脱衣所および浴室→熱い浴槽と大きく温度が変化することで、血管が正常→収縮→拡張と変化すると、血圧は急激に変動し、心臓や脳の血管の病気が起こりやすいと考えられます。

一方、高めの温度のお湯に長く浸かることで熱中症になることが、入浴中の急病につながる、という報告もあります。42度の湯温で30分入浴すると体温が3度上がり、37度の体温で入浴すると40度まで上昇し、熱中症症状に至ると言う報告です。

冬場の入浴での注意点は

- ①可能な限り、脱衣所、浴室をあらかじめ温めておくこと。
 - ②お風呂の温度は41度以下で、浸かる時間は10分まで、を目安にすること。
- ぬるく感じて、体は十分に温まっていますので、熱いお湯に長くつからない様にしましょう。



質改善に向けた取り組み

法人管理本部 クオリティマネジャー岡田 幸子

近年、医療技術の高度化・複雑化に伴い国民の意識の変化から医療の質への関心が高まり、加えて超高齢化社会も伴い、医療の質向上及び質改善への取り組みが求められています。

社会のニーズに応えるべく、当法人管理本部内に「クオリティー部門」が設置され、法人内の質向上に向け体制が整備されました。

ヴォーリズ記念病院では、第三者評価である日本医療機能評価機構の認定を受け、継続的質改善活動に取り組んでいます。対象の方々が、安全で安心な医療が受けられるよう、「患者中心の医療の推進」「病院組織としての診療・ケアの取り組み」「各部門における確実で安全なケアの実践」「理念達成に向けた組織の運営」の4つの視点で組織全体の運営管理および提供される医療について評価し改善につなげています。具体的取り組みとして、「みなさまの声」「退院アンケート」「患者満足度調査」の中で頂いた患者様・ご家族からのご意見やご要望の内容を改善に向け検討しております。ご回答は正面玄関にて掲示させていただいております。また、業務改善委員会の中で、QI活動（Quality Indicator）に取り組んでいます。この活動は、各現場でデータを収集・分析、改善につなげ、サービスの“質”について、取り組むことで医療の質の向上を図ることを目指します。毎年「QI活動報告会」を開催し、継続的活動としています。

地域に根差した病院として、皆様に質の高い医療・介護を提供できるよう日々努力してまいります。

ご意見、ご要望はご遠慮なく各フロアにありますご意見箱へご投函ください。

これからもご支援の程よろしくお願いいたします。



ヒーリングアートのご紹介

新病院の各階EVホール前の壁を彩るアートについて、ご紹介致します。敷地周辺の豊かな自然や生き物、かつての病院の情景、ヴォーリス師の理念をモチーフに、特殊加工を施した廃材利用のアートや、スタッフ参加型のワークショップを開催して、作家と共同制作致しました。

1階「生命のつながり」



3階「原点」



2階「思い出の庭」



管理栄養士ようちゃん
おススメ！

新調理システム

「ニュークックチルシステム」支えるスチームコンベクション

今回は、当院の新調理システム「ニュークックチル」についてお話しさせて頂きました。このシステムは料理の品質向上だけでなく、急速冷却とチルド保存の工程によって衛生面に優れ、作業効率と生産性の高さがメリットで挙げられます。品質・衛生・効率と大量生産の給食にとっては非常に有効なシステムと言えるでしょう。

今回はこのシステムを支える調理機器「スチームコンベクション」を紹介致します。

●スチームコンベクションとは？



蒸汽加熱によるスチーマー機能と熱風を対流させるコンベクションオープン機能の両方を兼ね備えた加熱調理機器です。更に蒸気を与えながらオープン加熱も可能で多彩な料理が可能です。当院では「煮る」・「焼く」・「蒸す」などの加熱料理のほとんどをスチームコンベクションで行っています。

煮る・焼く・蒸す
以外に炊飯もできる優れもの！！



メリット その1 「確実な温度管理」

食材の芯温を測定しながら加熱調理するため設定した温度まで**確実に加熱**されます。



メリット その2 「職人の技術を再現」

調理従事者の長年に渡る経験や勘、コツなどのスキルを温度や時間、調理方法を数値化することで**再現可能**です。当院の料理もこの数値化したもので行っており、今までの料理についても数値化を進めています。

メリット その3 「作業効率が良い」

鍋・釜の調理と違い食材が自動で調理されるため次々と調理を進めることができます。また、専用のホテルパンにて調理から冷却、保存、再加熱までの一連の流れを行なうため、容器の移し替えも無く、生産管理しやすく洗い物も最小限に済みます。

売店、イトインのご紹介

2022年11月4日、病院の新築移転と同時に売店「ヤマザキショップ」さんもリニューアルオープン致しました。病院玄関を入って左側に位置し、2階にあった旧病院の時と比べて、ご来院の皆様にご利用頂きやすくなりました。売り場の奥にはイトインスペースがあり、大きな窓から、たくさんの光が差し込みます。皆さまも是非お立ち寄り頂き、新しくなった売店で買い物を楽しんでください。



ツッカーハウスが蘇りました!!

副理事長 澤谷 久枝

2022年11月1日、第5期内装改修工事が完成し、ツッカーハウスに念願の明かりが灯りました。平成24年4月第1期屋根瓦工事に始まり、10年もの年月を経て見事に仕上げて頂きました。着工前と完成の佇まいを一部紹介しましょう。皆さまと集える日が楽しみです。

ヴォーリズさんもしっかりと喜んで下さっていることでしょう。

感謝

着工前の
① 2階左翼室
② 1階事務所

①



②



⑤

③



④



完成した
③ 2階右翼室
④ 玄関左側事務所前廊下
⑤ 1階元看護部長室

施工設計 大信建設株式会社・株式会社一粒社ヴォーリズ建築事務所

病院からの お知らせ

◆ 出前講座のご案内

ヴォーリス記念病院では、地域の皆様の交流と健康づくりのお手伝いの一環として、当院医療スタッフが地域に出向き、医療や健康に役立つ専門的知識・技術などを紹介します。

地域の皆さまの健康保持増進や疾病予防などのお役に立てればと願っております。ぜひご利用ください。

【お問い合わせ】ヴォーリス記念病院 企画渉外課
TEL：0748-32-5211(代表)

※詳細は、ホームページにてご確認ください。



◆ インフルエンザワクチン接種 予約受付中

(予約電話) 0748-32-5211

(予約受付時間) 14:30~16:30

(接種時間) 15:00~1時間程度

接種期間: 2022年10月11日~2023年1月31日

近江八幡市介護予防拠点事業

◆ 2022年度 ヴォーリス介護予防教室のご案内

テーマ:『コロナに負けないからだところの維持』(年間5回・木曜日開催)

回数	月日	担当	内容	
5	2/16	ヴォーリス老健センター	折り紙で季節を感じましょう	介護福祉士 福永 紗安佳氏 徳岡 史也氏

ー 日程、講師など変更の場合もございます。最新情報はホームページでご確認ください。ー

- ①対象者 おおむね65歳以上の方 定員: 15名
※新型コロナウイルス感染症に対する感染予防に配慮して人数制限をしております。
- ②場所 アンドリュース記念館(旧YMCA会館) ※近江八幡市為心町中31番地(近江八幡教会の隣)
- ③開催時間 14:00 ~ 16:00
- ④参加費 無料
- ⑤申し込み 往復ハガキで ①住所 ②氏名 ③年齢 ④連絡用電話番号 を記入の上
〒523-0806 近江八幡市北之庄町492
介護予防教室係 まで (単月の申し込みも受付します。)

【お問い合わせ】 ホームヘルプステーション ヴォーリス
TEL: 0748-32-7130 / FAX: 0748-36-5458



◆ 「ライラックの日」のご案内

～大切な方を亡くされたあなたへ～

「ライラックの日」は、ヴォーリス記念病院ホスピスで大切な方を亡くされたご遺族の方が、スタッフと思い出や近況を語り合うことで、共に悲しみを分かちあい、生きていくための励みや支えになればという思いで開催している集いです。

当院ホスピスでは、5月から毎月第4または第5水曜日を「ライラックの日」としています。

ゆっくりスタッフとお話ししてみませんか? どうぞ、お気軽にお越しください。

【お手続き】

- ・ご遺族様2人までの予約制
- ・お電話でのお申し込み
- ・時間帯: 13時~14時 ・14時~15時 ・15時~16時

【お問い合わせ】

ヴォーリス記念病院 ホスピスまで
0748-32-5211 (代表) (9時~17時)



「ライラックの日」のネーミングについて

ライラックの「若き日の思い出・初恋の感動・友情」といった花言葉にちなんでつけました。大切な人との思い出や分かち合った感動、守ってきた友情を、いつまでも大事にしていきたいという願いがこめられています。

〒523-0805 滋賀県近江八幡市円山町927-1

電話: 0748-32-5211 (代表)

FAX: 0748-32-2152 (代表)

*シャトルバス(無料送迎)あります。

●編集後記●

新病院に移り2か月が過ぎました。ご来院の方から、「綺麗になったね」と明るくお声かけ頂きます。優しい色で包まれた院内は心を穏やかにしてくれる気がします。皆様にとって、2023年の干支のうさぎのように飛躍できる1年になりますように。

【編集・発行】 公益財団法人 近江兄弟社 ヴォーリス記念病院 企画渉外課

公益財団法人 近江兄弟社 ヴォーリス記念病院